

## 第 19 回専門部会における意見概要と修正（案）について

### 1. 商工振興ビジョンロードマップ（案）

NO	意見の概要	対応（案）
1	<p>○ふるさと納税を通じて、市民に栗東のものへ目を向ける機会とするため、もっと市民に向けても周知を図った方がいいのでは。地域経済の循環につながる。</p> <p>○ふるさと納税で市の財政収入を上げることも大切だが、むしろそれをきっかけに栗東を知る機会とすることや、シティセールスの良いきっかけとして捉えていくべき。</p>	<p>○ご指摘の点を踏まえ、次のとおり解説欄を修正します。</p> <p>■修正</p> <p>P21 3. ブランド創出</p> <p>b 販路拡大</p> <p>「ふるさと納税制度をいかして市内外への情報発信に努め、特産品の販路拡大やシティセールスを推進します。」</p>
2	<p>○お米やいちじくが地域資源とあるがそれほど突出しているのか。</p> <p>○栗東米は評価が高く、地域内外にPRすることは大事。市も農協も推している。</p> <p>○イチジクゼリーの知名度は？</p> <p>○いちじくについては栗東産はブランド化しているし、滋賀県内の大手スーパーでも栗東産のいちじくとして知名度は高い。</p>	<p>○ご指摘の点を踏まえ、「イチジクゼリー」の実績欄は現状のままとし、解説欄を修正します。</p> <p>■修正</p> <p>「イチジクゼリー」 →「栗東プリンいちじくなど」</p>
3	<p>○お米、いちじくといった農産物が外に向かって知られているという市民の共通認識が得られれば先行事例として紹介し、それに続くものを支援していくという趣旨で挙げていくことは望ましい。農産物と記述するよりも、あえて「いちじく」という具体例を出したほうが目に留まってよい。</p>	<p>○ご指摘の点を踏まえ、事業実施計画（案）における「栗東ブランドによる認証制度の設計」における参考とします。</p>

4	○甲賀市では「甲賀市甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例」を作られた。おもしろい取組みだと思うので、栗東でもそういったことができないか。	○ご意見のありました条例に関しては、販路拡大や地産地消を始め、多様な効果が期待されるものであり、次のとおり、解説欄に追記するとともに、新たな施策の検討時における参考とします。 ■追記 P21 b 販路拡大支援 「栗東ブランドや特産品の活用を促進する条例の制定など、販路拡大や地産地消の効果的な推進に努めます。」
5	○空き店舗が増加している点は重要な問題だと思う。	○ご指摘の点については、事業実施計画（案）における「空きテナントの現況調査」や「空きテナント活用によるチャレンジショップ事業」として、取組みを進めます。
6	○学生が栗東駅前ですったアンケートによると、高齢者が休憩できるスペースがほしいということが明確であり、どういう形で対応するかという視点もあるが、こういった発想も必要。	○ご指摘の点を踏まえ、解説欄に次のとおり追記します。 ■追記 P22 （1）栗東駅前の活性化 「学生アンケートにより、高齢者の休憩スペースを求めるニーズが高いことが判明したため、こうしたニーズへのホスピタリティある対応を検討し、にぎわい創出につなげていきます。」

## 2. 商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画（案）

NO	意見の概要	対応（案）
1	○9頁「消費者ニーズ調査および市民・消費者ワークショップ」のところに「事業者」も入れていただきたい。ただ消費者の意見を聞くだけでなく、さらに事業者の方のリアクションを返して、それをまた返す「コミュニケーションの場」として相互に考えていく機会としていく必要がある。	○ご指摘のとおり追記します。 ■追記 P9（2）市民の消費ニーズについての調査・検討 「市民・消費者・事業者ワークショップ（懇談会）の開催」

2	○観光客に来ていただくにしてもトイレが少なすぎる。あるところにしても、もっと周知すべき。マップの拡充が必要。	○ご指摘の内容については、15頁「観光客向けのマップやパンフレットの拡充」での周知を図るとともに、観光客のトイレ対策についても検討課題とします。
3	○ロードマップの事業を推進していくに際して、商工会も協力するが、市の現状の人員体制ではたいへんなのではないか。マンパワーの充実も必要。	○ご指摘いただいた、マンパワーに関しても施策に応じて内部協議を進めます。
4	○創業塾、創業支援希望、空きテナントのチャレンジショップなど、新しく起業される方を対象とした施策が多いが、イメージとして既存の中小企業の振興策はセーフティネットの活用などの施策があるものの、少し薄いように思う。また、今ある施策、施設などの周知・配信が大事。	○ご指摘の点については、創業支援事業計画に合わせて展開するものであり、期間を限定して取組みを強化しているものです。 ○他方、既存の中小企業対策としましては、「滋賀県緊急経済対策資金の信用保証料助成制度の拡大延長」や、「小規模事業者持続化補助金の市単独助成制度の創設」などの具体的施策を挙げております。 ○情報発信については、「(仮称) 元気な中小企業支援を応援するまちづくりガイドブック」や「元気な中小企業や施策を紹介するメールマガジン配信制度創設」などを位置づけており、市ホームページや広報に限らず、多様な情報発信ツールも含めて既存の事業所への支援も検討していきます。
5	○大野神社や森田まさのりさんなど話題性のあるものを利用してはどうか。観光資源があるのに使われてないような気がする。今あるものを活かして聖地化することなどできないか。また外国人にも来て頂けるようにしていただきたい。	○ご指摘の点については、15頁「観光振興計画の策定」時における参考意見とします。
6	○近隣企業として、小中学校の出前講座のようなことができないか。地元の子供が就職してくれるというのは、地元企業としても興味深い。	○ご指摘の点については、11頁「ブランド力向上を通じた中学生・高校生の地元企業インターン事業の実施」における参考意見とします。

7	○事業継承に関する施策も必要では。	○ご指摘の点については、8頁「小規模企業者支援のための市管理職員による「(仮称)出向くコンシェルジュ制度」の創設により、事業継承のニーズ等の実態を掴むとともに、創業支援事業やよろず支援拠点等を通じたマッチングの機会を確保したいと考えております。また、更に効果的な施策についても、今後の検討課題として取組むものとなります。
---	-------------------	--